

# 消化器疾患は正しい知識と検査で防げる—— 専門医として予防・治療、そして啓蒙に努めたい



## いのうえ消化器内科クリニック

大阪府泉大津市松之浜町2丁目4-15  
URL : <http://inotaku-clinic.jp>



院長 / 医学博士 **井上 拓也**

内科・消化器内科に特化した『いのうえ消化器内科クリニック』。臨床医・研究者として消化器内科学を学んできた井上院長が、特に消化器疾患の予防・治療に努める。近年、大腸癌患者が日本で急速に増えていることを受け、その減少に貢献したいという。本日は、女優の島田陽子さんが、そんな院長にお話を伺った。

「いのうえ消化器内科クリニック」さんは、5月初旬に開業されたばかりだそうですね。おめでとうございます。井上院長が開業された経緯をお聞かせ下さい。

私は少々、医師としては珍しい経歴を持っています。『防衛医科大学校』出身なんです。同学校を卒業後は、『陸上自衛隊幹部候補生学校』を経て、『防衛医科大学校』の初任実務研修医官や第二内科専門研修医として働いていました。しかし、陸上自衛隊内では医師として臨床経験を積むことが難しく、一人でも多くの患者様を診たいと考えていた私は、6年の勤務の後、辞めることを決意。2004年に、『大阪医科大学第二内科学大学院』に入り、その後、米国へ渡って『シカゴ大学』と『UCLA』で博士研究員として消化器内科学を研究しました。帰国後は、『大阪医科大学』では助教、講師、准教授と臨床のみならず、研究や教育にも幅広く経験させていただいたのですが、徐々に臨床から遠のいていきましたね。本心としてはやはり患者様を診たかったので、ジレンマを感じようになり、開業することを決めたのです。

研究者も立派ですが、患者により近い医師でありたいとお考えだったんですね。はい。また、『大阪医科大学』では大腸を専門としていたのですが、消化器内科疾患

の中でも特に大腸癌は今、罹患率・死亡率が共に上がってきているんですね。そこで開業医として地域に根ざし、第一線で予防・治療に携わりたいと考え、開業に踏み切ったのです。当院では大腸内視鏡と大腸疾患、若い人に増えている大腸癌や潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群などを専門にしています。

### after the interview

「実際にしつこい腸めめ切った料事に大高め改大た」  
「使った食病がクク慣し」  
「を下った糖尿病と習慣」  
「ウ関で糖尿スと習じ」  
「マにせ偏で糖尿だ活感」  
「験見た。因のの生感」  
「り、癌のの生感」

島田 陽子  
(女優)



私は、専門分野に特化した医師でありたいと考えています。内科・消化器内科に特化した『消化器疾患ならあの先生だ』と思ってもらえるよう、『いのうえ消化器内科クリニック』を開業したんです。病気は、専門の医師が診たほうが、やはり確実ですからね。当院の特徴は、大腸カメラや胃カメラ、内視鏡検査を楽に受けていただけること。大腸癌は、すい臓癌や肺癌などと比べて大腸カメラや内視鏡検査で見つかりやすく、確実に予防できます。それを広く知っていただけるよう啓蒙していきたいですね。大腸癌になる可能性は、大腸カメラを行って内視鏡的にポリープを切除することにより、十分に抑制することができま

す。大腸癌になる人は増えていますが、確実に予防できる病気でもあるんです。大腸ポリープはその場で切除できるので、日帰り手術も可能ですよ。大腸ポリープや大腸癌といった消化器疾患は生活習慣病と密接に関係しており、当院ではそれらの治療も行っています。

高い専門性と先生の豊富な経験があればこそクリニックなのです。衛生面も徹底されているようだし、とても開放的な雰囲気ですね。

ええ。上履きスリッパは抗菌効果のある袋に入っていて使い捨てにしていますし、病院と聞いて抱くどこか冷たいイメージを払拭したくて、随所に木を取り入れました。私が開業に際してこだわったのは、患者様にとって心地よい病院なんです。

今後については、いかがですか。  
胃カメラ・大腸カメラ、そして内視鏡検査をもっと普及させて大腸癌の減少に貢献したいです。申し上げた通り、生活スタイルや偏った食事などは消化器疾患の一因ですから、予防のために正しい知識を広め、また的確な治療で対応していきます。

